

堂本彰夫

短歌集Ⅱ

～「眺望、逍遙」様々に～

2020年3月

○刊行にあたって

この短歌集は、私（井上こと堂本）が、HP上で、2016年5月から2019年4月まで執筆した「東シナ海眺望記」、そして、2019年5月から2020年3月まで執筆した「じのん逍遥記」において、そこで詠んだ拙い短歌を、改めてまとめたものです。どうぞ、ご笑読下さい。

※上記ホームページの URL 及びメール・アドレスは、下記の通りです。
いつでも、気軽に、ご覧下さい！そして、いつでもご連絡、お便りいただければ、本当に嬉しい限りです！

ホームページの URL⇒<http://www.gakuyou.jp>

メール・アドレス ⇒gakuyou17@outlook.jp

「眺望記」

- ・ 明暗 清濁 様々に形容でき
自然はそれを 「自然」^{じねん} に嘗む?!
 - ・ 我が来し方 明暗・清濁 それなりにあり!
されどそは 「自然」^{じねん} ではない?!
 - ・ これでよし これによしと 言い聞かす
この先流るは 「自然」^との日々たれ
 - ・ 曇天の 雲に吸^す上^わるる 湾の海水^{みず}
そのままこちらに 押し寄せるよう
 - ・ 若干見える 波打ち際
波頭に揺れる 白いしぶき 荒れてはいるのだ!
- <2016. 5. 25>
- ・ 懐かしい 「小市民」
この期に及んだ独白に 再びそれを 使おうとは?!
 - ・ いい人振るのは もう止めよう!
そう いい人では 決してないのだから!
 - ・ 偽善ではなく 偽悪をと
しきりに語った 若かりし頃 思い出すは何故?

・ 記憶力 量より質と 胸張るも
その質決めるは 我でなし?!

<2016. 6. 18>

・ 犀星の 「ふるさと」語る その詩歌^{しいか}
胸に染むれど どこか複雑?!

・ されど その詩歌^{うた} やはり真実?!
最後はそれに いかに向き合う?!

・ 望郷も 郷愁も 幼き日々^{こどものころ}が
その中心?! それでよいのだ!!

・ ふるさとが ただ古き里にぞ なりぬれば
それはそれで 哀しさ募る?!

<2016. 6. 18>

・ 梅雨明けが こんなに早く 来ようとは
その先巡らす プランなどなし?!

・ 梅雨明けを 告げにし 入道雲^{くも}は
まだ見えず! それは明日かも?!

・ 降雨^{あめ}だけなら ベランダのリフォーム 成功だ!
問題は 来る台風ぞ?!

・ 鬱陶しい 数々の 醜態劇！
されどそこには 人の人生あり?!

・ 梅雨明けと ^{むすめ よわい}次女の年齢 関係は無し！
ただ^{そのひ}誕生日が 重なったのみ?!

<2016. 6. 18>

・ 梅雨明け後 とみに^{せわ}忙しい その^{わけ}理由は
ここに居るはずの ^{ひと}妻なき故?!

・ 毎日の 蜘蛛の巣駆除に 閉口す！
蜘蛛や蚊には ^{とが}責任はなし?!

・ 梅雨あけの 空の向こうの 本土では
その梅雨故の 豪雨襲う！

・ 早よ帰り！ お助け婆さん 待ち侘びる?!
孫への心配 どこへやら?!

<2016. 6. 24>

・ 夏至なんて ^{こよみ}単なる暦上の 約束事?!
そう思っていたのが 覆る?!

- ・ それぞれに 今を生きにし 若者達！
集いし意味は 何処にあるか?!

<2016. 8. 31>

- ・ 公園にて ^こ甥たちと遊ぶ ^{むすめたち}次女・三女！
往時の姿 懐かしき?!

- ・ 孫らより ^{とし}年齢ゆく娘らに 目を向ける！

このまま^{とき}時間が 止まればいいとも?!

※ 2015年12月29日 宮崎県の、とある公園にて

- ・ 朝起きて 老け顔映す 洗面鏡！
これが君だと 諭すよう！

- ・ 写真やビデオ 思い出さすは 楽しき日々！
だがあまりに違う 我もいて?!

- ・ 繰り返し 寄せては返す 白き波！
^{あ お}蒼碧き海原 いかにかに受け止む?!

<2016. 9. 13>

- ・ ^{あお}碧き海 日毎違った 顔見せど！
^{あらし}台風のそれは 今だ見せじ?!

- ・ 涼やかな 風が渡りぬ 今朝のベランダ！
^{あ お}碧灰色の海には 秋が見ゆ?!

・ 人の情や 思い遣り
その有り難さ 我が身に染みるは 何故?!

・ これが今 ^{おのれ}己が持ちにし すべての縁?!
そう思うことで 次も新たか?!

・ 夏季休暇 今の我には 無縁の呼称?!
すべての日々が そうなのだ?!

・ ^あ碧^お灰色き海 それ自体は 自覚なし!
己の顔に 表や裏など?!

<2016. 9. 22>

・ 今日の海 色の違いは あるとは言え
まだまだいつもの ^{あお}碧き海?!

・ 明日になり いかにか狂える ^{あお}碧き海?!
雲の走りに 幽かな予感?!

・ 迫りし台風 待つ間?!
若者達との しばしの歓談 懐かしき?!

・ 結局はこなかった 強き台風!
騒ぎ過ぎの そしりある?! でも、それでよい?!

- 騒がせた 強き台風 過ぎ去りぬ！
 後期に向けて いざ進まん！
 <2016. 10. 5>

- 過ぎ去りし 台風の^{あと}惨禍 ^う海（^み湾）には見えじ！
 そこに繋がる ^{しま}久米島は辛き?!

- 宜野湾は 地名でもあり ^う海（^み湾）でもある?!
 ひとり^{がてん}合点の この^{けしき}眺望！

- 水平線 何故に真直ぐ?!
 丸い地球の 視野の果て 本当に曲線なのか?!

- 又しても 妻はいないが 何とかなる?!
 とは言え食事は 甚だ面倒?!

- 「物書き」と 宣言するも 妻は応えず?!
 それでよいのだ！ とにかく書ければ?!

<2016. 10. 8>

- 数々の過去 奈辺に漂う?!
^う海（^み湾）の^{ごと}如 そこで繋がる 我が想い?!

- 「納得」は 実に便利な 終着駅?!
 されど心模様は 途中駅?!
- 「納得しない！」 納得もある?!
 この意味 分かる^{とき}年齢が 人には来る?!
- 留守してた 妻が戻れば もう安心?!
 これが本音だ 今の我?!
- 彼方に浮かぶ 私の東シナ海
 寄せては返す 白き波！ 音は聞こえず?!

<2016. 10. 13>

- 蒼碧^{あお}き海水^{うみ} 静かに浮かぶ 白き小舟^{ふね}！
 暑さの理由^{わけ}なぞ 知る由^{よし}もなし?!
- 石焼き芋 こんな暑さに 誰が買う?!
 実は沖縄 これもあり?!
- あの場所へ 凄まじき轟音^{おと}立て 降下する
 その物体の理由^{わけ} 何故に報じぬ?!

- 沖繩で 晩秋と言うは 甚だ^{おか}変し？
 けど言いたい その訳あり?!
 - お互いに 年は取れども 変わらない？
 それを感じずは 懐かしさ故のみか?!
 - 将来を 期待しての 思い遣り？
 まったくなかったとは 言えぬかも?!
 - 本当は 誰しも有する 辛きこと？
 されど生きるは その甲斐ある故?!
 - ^{あ お う み}薄青き湾（海） ^{しろ}薄白き雲から 降り注ぐ?!
 霞を帯びて さらに^{あ お}薄青く?!
- <2016. 11. 6>
- 荒れる^{う み}海（湾） 初めて眺めた その光景?!
 北の海でも 見ているよう?!
 - 荒れる日に 海の向こうの 別な荒れ?!
 我が目の前の アレはどうなる?!
 - 学習メモ 荒れはなくても あれ？はある！
 そんな理解が どうして出来る?!

・ 今回で 終わると思うと 若干寂し？
されどやる時 やはり憂鬱?!

・ これまでは ほとんど任せし 金銭管理?!
そんな私に 何ができる?!

<2016. 11. 9>

・ 트럼프の カードに隠れた その数字?!
四つのマークの どれ多し?!

・ 年齢と 若さの関係 逆比例?!
されどそれさえ 覆す人あり?!

・ 老いと諦め ワンセット
それが普通と 言い聞かせ?! これからを生きる?!

・ 諦めにも すぐに認める ものもある?!
されどたやすく 認めないものもある?!

・ ^{あ お う み} 紺碧き海 (湾) 何故に今日は ^{ふ ね} 小舟多い?!
まさかガサミを 狙っている?!

<2016. 11. 9>

・ これだ、これ あの日見たのは まさにこれ!
この^{ながめ}眺望こそが 我を決す!

- あれから一年 過ぎ去りぬ！
ある意味 この一年が 最良の一年?!
- 刻々と数字を増やす カウンター！
だけど 誰が増やすか 教えない?!
- 各コーナーに 思いを寄せるも 濃淡あり?!
されど三者は 我が身一つ?!
- これからも このスタンスは 変わらない?!
変わるとすれば 何がある?!

<2016. 11. 19>

- 温泉 降る雪 北アルプス
されど寒さは 別問題?!
- 初めて訪ねた 白川郷
合掌造りは やはり 雪がなくては?!
- 穂高や安曇野 別の興味あり！
されど妻は それには与せず 何故?!
- 南信州の 山の中にて 異彩を放つ！
「だいだらぼっち」は 何を教えむ?!

- ・ その土地に 根付く人々 羨まじ!
それだけのこと 為して来たのだ!

<2016. 11. 30>

- ・ ^{ようこう}陽光の か弱く当たる 心地よさ
沖繩とても あるにはある?!

- ・ ベランダで 花々^め愛^めでも 世話^{かた}難し!
我^{われ}の来し方 それに似て?!

- ・ “岳陽”と 名づけし^{おもい}期待^お ^{さすら}流離^らうも?!
いつしか誰かに 届くとぞ思う?!

- ・ 目の前の 師走の東^うシ^みナ海は ^{もや}靄^ひがかかる?!
それを晴らすは ただ季節のみ?!

- ・ 今まさに 海^う(^み湾)の景色より 太陽^ひの光!
二重の意味で ありがたき?!

<2016. 12. 10>

- ・ ^{なぜ}何故かしら 海^う(^み湾)ばかり見つめてる 偏屈者?!
花鳥風月 柄にもなしとて?!

- 寒風に 震える草花に 愛しさ感ず?!
 さりとてそれを 如何ともし難く?!
- 偶に見る 満月の明かりは 神々しく?!
 されどそこから 想いは零れず?!
- 北極星 私のそれは ともかくも?!
 照らし続けよ かの行く末を?!
- 今日もまた やはり眺める 私の東シナ海!
 白きしぶきに 何を見る?!

<2016. 12. 14>
- とにかく終わった 今年一年!
 多くの人の 助けあり?! ただ々感謝?!
- 若者よ! 無事の提出 祈るのみ!
 覚悟決めれば その先見ゆ?!
- 家の事 まだまだ分からず 往生す?!
 妻の偉大さ 改めて知る?!

- ・ 「不条理」は 文学こそにて 意味がある?!

されど現実^{うっしょ} それとて受入る?!
- ・ だがそれは 言い続けねば さらに危うし?!

若者達には せめて伝われ!
- ・ 「岳陽舎」 今日の日和は それを見させず?!

だがいつの日か 顔を覗かす?!

<2017. 1. 20>
- ・ 群青色^{あ お}一色の 私の海^{う み}（湾）!

眩しいばかりの 陽光に 春の訪れ実感す?!
- ・ 東京上野は 私のふるさと?!

何年経っても そう思う?! それは、何故?!
- ・ 幸手に生きる 一人の女性!

こんな職員^{ひと}が 無数にいる?! 否、そう思いたい?!
- ・ よくやった! 本当によくやった!

されどももう少し 日々^{とき}はある! それまでよろしく!
- ・ ファイナル・イベント 如何に迎える?!

これが次なる 形を創る?! 否、そうでなければ?!

<2017. 1. 28>

- ・ 二組の 初老?の夫婦 久し振り!
 話題の多くは やはり老い?!
- ・ 主事講習! 遠隔受講も 悪くはなく?!
 ここから咲くか 社教花?!
- ・ 球春の 到来告げる 沖縄キャンプ!
 さりとてさほど 高ぶらず?!
- ・ 嬉々として ベランダ持て来る 珍しき妻?!
 写真を撮るも スマホに手こずる?!
- ・ 収穫は 自らの喜び それ自体に!
 見かけや味は それこそ二の次?!

<2017. 2. 6>

- ・ そこにある ただそこにあった 私の居場所!
 しかしそれは 永遠ではなかった?!
- ・ 今回も救われた 淋しき思い?!
 されど失う かの時と場所?! それが退職?!
- ・ 忘れていた 建国の日!
 史実はともかく 「今」の元は 意識はせねば!
- ・ 我の「今」 誰の「今」に 受け継がる?!
 だがその誰は しかとは見えず?!

- ・ 感傷に 浸る間もなく 家路着く！
 具合はどうか?! 食事はどうする?!

<2017. 2. 12>

- ・ 本土からの お客さん
 何を求めている 沖縄か?! それは問うまい?!

- ・ ある予感? これが求める この意義?!
 誰もが出会い 語る場であれ!

- ・ 若者の 想いは解れ^{ほつ} 未来を見る?!^{つぎ}
 何があろうと 待つもの(者?)あり?!

- ・ 騒音に 会話途切れし!
 だがそれさえも 日常となす?! この地は異常?!

- ・ 暗灰色の^{はい} 雲に包まれ 苦しそう!
 海(湾)のウリとは^き^み 誰も思わず?!

<2017. 2. 27>

- ・ 終わった! 本当に終わった!
 だがほとんどが 既に一年前に 終わっていた?!

- ・ 書くことで 伝えた気には なるものの
 受け取る側は ただそれだけのこと?!

- 嘆くまい！ なじるまい！
 みな今がある！ そう言い聞かせて これからを生きる?！
- 集まりし 健気な若者 感謝の極み！
 何が何でも 我は見守る！
- 嬉しい便りは 個々にはある それでいいのだ！
 そう思わないかい?! 私の東シナ海よ！

<2017. 3. 10>

- 教え子の 親や縁者の ^{よろこび}泣き笑いの顔
 結婚式は いいものである！
- 祝い事 ^{はた}傍で見ながら 思うこと
 我が^{むす}次女・^{めら}三女は いかであらん?!
- いつもだが ^{よろこ}歓待び振る舞う ^{ふる}旧き^{とも}学友！
 なすことなして 今を生きてる?！
- 芸人の 創る^{わらい}世界は メディアでは
 見えざる彼らの 生きる様?！

- ・ 集いし若者 遅しく！
後の事 ^{おも}慮^まう隙もなく 時は過ぎにし！

<2017. 4. 12>

- ・ 国民年金 国民健康保険 介護保険
怪しげな用語 理解可能か?!

- ・ 今までは 無縁だった 遠き言葉?!
それがいつしか 我が事となる！

- ・ 那覇^{まち}の夜街 不良？老人 闊歩する?!
カラオケ歌うも 往時と変わらず?!

- ・ マラソンの 後からステーキ 待ってるとは
夢にも思わじ?! 楽し^{やんぼるじ}山原路！

- ・ 植えた苗 思いだけは 誰にも負けじ?!
ただし収穫 誰の労苦?!

<2017. 4. 17>

- ・ ^{じーだぶりゅ}G W その名に恥じぬ 日々であれ！
ただお天気だけは どうしようもなし?!

・ 金と銀 価値からすれば やはり金?!
だが成金よりは いぶし銀たれ?!

・ 金銀は 銅や鉄等が あればこそ?!
その輝きも 評価さる?!

・ ペンションで いつもの顔ぶれ 何をする?!
とにかく創れ! 次なるものを?!

・ 私の東シナ海 今日は語らず! それは何故?!
でもしばらくは それでよし?!

<2017. 4. 27>

・ ベランダ族?! いつしか我は そう自覚く!
ただ元の意?も 当然含む?!

・ 「昭和」の日 その祝日はともかく 懐かしい?!
思い出される 過ぎ去った日々?!

・ 「眺望記」 クレーンが ネタになるなんて?!
思いもしない 爽やかな季節?!

・ ゴールデンウィーク やはり最後は 孫の顔?!
そう思わすも 悪くはないか?!

- ・ ^わ我がいない ^{とき}期間にこそ ^{雨よ、降れ!}
^{手前勝手は} ^{はなやぎ}野菜花木のため?!

<2017. 4. 29>

- ・ GW ^{まご}孫達との^{であい}再会 ^{そっちのけ?!}
^{思い出させる} ^{みどり}皐月の風緑

- ・ ^{野苺を} ^{はしや}見つけて^は燥ぐは ^{孫でなく!}
^{うごき}動作も鈍る ^{ひわれ}幼き頃の我?!

- ・ ^{自然薯と} ^{呼ばれる時には} ^{何故か高貴?!}
^{我が懐かしきは} ^{ただの山芋?!}

- ・ ^{幾世代} ^{たね}重ねし種(芋)は ^{今まさに}
^{とき}場所を得られて ^{見事身を成す?!}

- ・ ^{小さき白き} ^{なみがしら}波頭!
^{さわ}沢山にはあるが ^{荒れてはおらず?!} ^{それも海!}

<2017. 5. 9>

- 見渡せし 遙か彼方の 私の東シナ海
 雨に煙って いずこも見えじ?!
 - 雷鳴と 共に今年も 梅雨来る?!
 されどその降雨 慈雨となる?!
 - 降雨とて 適度にあれば 幸となる?!
 だがその適度さは 誰が決める?!
 - 貯水量 ただそれだけでは 計られず?!
 我が心のダムは いかにある?!
 - “かたつむり” 童謡には可愛く 詠まれても?!
 我が畑や庭にすれば ただの邪魔虫?!
- <2017. 5. 13>
- 今日の海 (湾) あの蒼 (碧) がない!
 鏡となった 湖面の様! 珍しきかな?!
 - 45年前 歓喜で迎えた 本土復帰?!
 彼らの思い 語るは失礼か?!

・ 語れない 喋れない その理由は?!
ここに過ごした 日々であり?!

・ 憎しみや 哀しみでさえ 塊^{かたまり}として
ぶつけられるは まだ幸せか?!

・ “そこに生きる！” そのこと自体の 意味^{こたえ}はあるのか?!
私は“ある”と 思っている?!

<2017. 5. 15>

・ 束の間の 梅雨の晴れ間の 私の東シナ海^{うみ}
あの蒼碧^{あお}なければ ただの海^{うみ} (湾) ?!

・ 心地よい 薫風^{かぜ}のそよぎに 誘^{いざな}われ
我がウエットな 想い乾きぬ?!

・ GW 終われば少しは 進むらし?!
期待^{おも}う心は 梅雨模様?!

・ 知らなかった！ そこまでは?!
語る若者^{オービー} 遅しき?! されど期待はまだ?!

- それなりの ^{こうう}降雨もありて 心配なし?!
 されど湯水 俄かに生ず?!
 - 利便性と 自然保護
 その二律背反は どこにもある?! そこに何が?!
 - 橋づくり ^{みぎ ひだり}右端と左端は 別々に!
 されど最終的には ^{い つか}一つになる?!
 - 打ち上がる ^{しぶき}白い飛沫の 激しさは?!
 そこに横たう 岩場のせい?!
- <2017. 5. 25>
- やはり梅雨 ^{つゆ} それなりの ^{い み}貢献は あって欲しい?!
 ただそれも 限度はあるが?!
 - ^{ロックス}69s の ^{おじ}ボーカル兄さん? 君は誰?!
 その声その力 プロの ^{よう}様?!
 - “おきなわ “を ^{うた}想う彼らは ^{サムライブ}SAMULIVE?!
^{ことば}詞も ^{へんげ}変化な ^{あらた}新型なカリスマ?!

- ・ 「善^{ぜん} (吉)」 と 「悪^{あく} (凶)」 常にある二面性?!
 それ分かってても 祭るものなし?! ただ祈るだけ?!

- ・ 梅雨明け? と 思わせる程の 今日の「私^{わたくし}の東シナ海」!
 コバルトブルーに 未来^{つぎ}は映えるか?!

- ・ 穏やかに 凜と広がる 青蒼^{あおぞら}き海!
 白き波立たせ 瘦船^{こぶね}横切る!

- ・ 「シージャー (年上?)」 と 「ヒージャー (山羊)」?!
 案外両者は 結びつく?! その根拠^{わけ}なくもなく?!

- ・ 彼らをば 南風^{ふえいぬ}の国の 新たな旋風^{かぜ}と
 期待^{よびに}し我は あの海^{うみ} (湾) 見るよう?!

<2017. 6. 7>

- ・ まさに真夏^{なつ}! 梅雨明け宣言 してもよく?!
 だけど雨量は まだまだ足りず?!

- ・ 珍しく? 夫婦^{いっしょ}に届いた 郵便物!
 それもそのはず 年金機構!

・ 懐かしき？ 白い色と あの匂い！
されど不似合い 机上の^はカサブラン^なカ?!

・ あの頃を 思い出させる ^{しろ}白大きな花！
その花言葉 今に知るとは?!

・ ^{うえ}空に向かって Uターン?!
何故にそうする 怪しき胡瓜?! それも個性?!

<2017. 6. 10>

・ 梅雨明けを フライングした^{とが}咎で お仕置きか?!
週間予報は ^{あめ}降雨の連続?!

・ 梅雨と台風 同時に来ることは あり得ない?!
でも沖縄は それもある?!

・ ^{しょうせつ}自叙伝を ^か描くこと程の ^{われ}物語はなし?!
だが定かには 生きては来たか?!

・ 青春の 苦しき重き ^{まち}あの市へ！
次女に^{かこつ}託け ^{いっ}訪ねてはみたい!

- ・ 「キャリア」積む?! 次女の将来^{これから} 如何にある?!
ただそれだけは 誰にも分からず?!

<2017. 6. 14>

- ・ 夏至と梅雨明け 一緒に来た!
沖縄では それはまさに 酷暑の始まり?!

- ・ 何を思えば 何を語れば 慰霊となる?!
ひかり
橙光の湾曲 闇に浮かぶ!

- ・ ブログで語った 生きてる証し?!
そんなあなたに 何言えよ?! ただ安らかに!

- ・ ある人の説 ただそれだけを 信じれば
ある意味^{やす}易き 古代の謎解き?!

- ・ 地域のため?! そは私への 殺し文句?!
だけど固辞する 我はこの先?!

<2017. 6. 24>

- ・ 「加齢」とは 決して呼べない 我が「老化」?!
それこそまさに ろ(ど?) うかせねばな?!

- ・ 水無月の 語源求めど よく分からず?!
ただ新暦に その語は合わず?!

- 都議選の 結果知らせる マスコミは?!
 当落よりは 見せ方極む?!
- 弱いけど 一応台風?!
 これからは そんな奴らが 目白押し?!
- OOファースト しっくりはこないが インパクトはある?!
 その語に泳ぐ 否、泳がさる?!

<2017. 7. 3>

- 危惧してた 台風来時の 梅雨の怖さ !
 それ知りつつも 如何とも難^{かた}き ?!
- 自然とは 善(神)と悪(鬼)の 両面あり?!
 だけど雨^{みず}は 恵みのはず?!
- 人々の 思いと行動 ある意味自然?!
 それを見越して 動くも自然?!
- 信念と しんねえー(知らない?)は 紙一重?!
 されど現実 雲泥の差 ?!
- 珍しく 我が家に向かう 黒い雲!
 雨なきやそれも ただの雲?!

<2017. 7. 11>

・ 急^せかされて 書いてはきたが あまりにも?!
だがそれだとて 力とはなれり?!

・ 何事も 毎日やらねば 成果なし?!
分かっているも 継続^{かた}難し?!

・ この先に 見えるはずの 粟国島?!
潮の向こうに 塩ありまーす?!

<2017. 7. 25>

・ あっという間の 二週間!
何も書けずに 時は過ぎ?! その原因は何?!

・ 久しぶりの A 講習
受講^{かれら}の教師達に こちらの覚悟 いかになえし?

・ 預かりし 双子の孫は 宇宙人?!
取り扱い書 どこかにないか?!

・ 幼き日の 思いも寄らぬ 因果あり?!
そんな病が あったとは?!

・ この間に いくつもあった 見たくないこと?!
すべてを流せ 夕立の如^{こと}?!

<2017. 8. 7>

- ・ 何と言う 酷な夏休み！
 暑さと痛み これだけ続けば 言うことなし?!
- ・ 宇宙人？ 癒されることも なくはなし?!
 悔やまれるは もっと優しさ?!
- ・ 書くことを 忘れてしまった 日々の喧噪?!
 われだ 我抱く想いは かくも軽きか?!
- ・ 一人眺める 静かなる 蒼碧き海！
 久し振りの 私の東シナ海（湾）よ！
- ・ 夕暮れの 日差しに感じる 秋の気配?!
 だが、まだまだ 暑さは続く?!
 <2017. 8. 19>
- ・ まだあった 夏のイベント ハプニング?!
 暑さと痛み 続く中にも?!
- ・ このひと月の 家族模様！
 病気・入院 様々あり！ だから喜び貴重?!
- ・ 美人の湯？ そのフレーズに 軽さあり?!
 だが実態は 好感もてり?!

- 霧島に 集いし若者？ 往時と同じ?!
 されど容姿は 流石に違^{たが}う?!
- これがあの 即決させた 蒼碧^{あお}き海!
 だがその感慨 若干褪せにし?!

<2017. 8. 25>

- 稲光 怪しく走る 夜の東シナ海^う (灣)^み
 向こうの半島^{しま}は 停電らし?!
- この雷雨 何故に生まれし?!
 気圧の谷 湿った空気！ それだけか?!
- 旧盆は あまり馴染めず ついスルー！
 その土地土地の しきたりあれど？
- 暑さと体調 大変だった 集中講義！
 されど試験はよく?! 一体何故?!
- 若者と 時と場所を 共有する?!
 それが私の 喜びなのだ?!

<2017. 9. 4>

- 眺望記 天気悪ければ 冴えなくもなる?!
 八つ当たりさる 台風も迷惑?!

・ 18号 左斜めに 狂い上がる?!
ならば何故^{なぜ} 最後までそうせぬ?!

・ あの病魔 あれから再会ぬ^{あわ} 我なれど!
よく似た奴には 何度か出会う?!

・ 今年も来た 三女の誕生日!
放つときたいが そうもいかず?! だがそこまで?!

・ 何を待つ? 待つともなしに 何か待つ?!
そんな日々は やはりダメ?!

<2017. 9. 14>

・ 鬱陶しい 日々が続く この沖繩!
されどそこにも したたかな生?!

・ 探し物 ひよんなことから ハプニング?!
そこに見い出す 過ぎし青春?!

・ 女性は強い そして怖い?!
そんな思いを まさかこの 我が心が?!

・ 今を生きる 過去を生きる?!
どちらにしても 人それぞれが 選んだ人生?!

<2017. 9. 22>

・ 一瞬の虹! その大きさ 身近さ!
今の我を 暗示したよう?!

- ・ 南の島は遠い?! 米寿の祝い あればとて?!
ただそれだけでは 行かぬかも?!
- ・ ふるさとや 行きたく思う 場所もなく?!
ただひたすらに 懐かしく?!
- ・ 見栄もなく 意地もなくせば ただ単に!
昔も今も 素直に語れる?!
- ・ 1回も 見えたことがなかった 粟国島?!
何故に今日は 姿現す?!

<2017. 9. 23>

- ・ 薄雲と 海水面の 蜃気楼?!
霞んで見える 怪しき?光景!
- ・ 科目提供の 苦しき? やり繰り?!
若者達は いかで知るらん?!
- ・ 離合集散 そを繰り返す 熱き人々?!
糸を垂らすは 蜘蛛の意図?!
- ・ かんだた 鍵陀多を 裁ける観音? どこにいる?!
蜘蛛の糸(意図?)なら 自ら切れる?!
- ・ 一人うつむく 無念の監督!
されどあなたは 再び動く?! その姿見ゆ?!

<2017. 10. 7>

- と き
 日々が 早く過ぎるは 良いことか?!
 ただひとひし一日のそれとは 意味が違う!
 - 明日から また留守をする 我が妻を
 いかなる思いで 送り出す?!
 - 蜘蛛とかんだた健陀多 登場す?!
 されどその糸 (意図) すが 縫る者選ぶ?! 観音様の出番なし?!
 - 研究会 思った以上に 手応えあり?!
 だが、そこから 何が生まれる?!
 - 台風よ かぜ 雨風を吹かすなら いいかぜ雨風吹かせ!
 下手なかぜ雨風なら ただ迷惑のみ?!
- < 2017. 10. 18 >
- 台風は予想外?! 選挙は予想通り?!
 だから 予想は もう止よそう?!
 - ベランダに 置いたる机 老いの果て?!
 板にやられて いと痛し?!

・ メリット (強み) が デメリット (弱み) にもなる?!
そんなことは当然と 口で言うのは いとも易けれ?!

・ 我が立場 事情はともかく ^{まった}全きフリー?!
良き人止めれば かくも違うか?!

・ 過ぎ去れば やおら戻りゆく 私の東シナ海^う海^み(湾)?!
あの荒波は いずこに消ゆる?!

<2017. 10. 23>

・ 週末の 2度の台風 予想外?!
下手な駄洒落に 怒ったか?!

・ 弱いとぞ 思わせておいて 荒れ狂う?!
季節外れの 台風怖し?!

・ 幽かに見える 波打ち際!
激しく寄せるは 白き荒波! 伝えしものは何?!

・ 高揚感?! 気付かず台風 過ぎ去りぬ?!
季節外れは その意もあるか?!

・ やるべきことは 他にもある?!
されど もどかしくもある 今のわれ?!

<2017. 10. 29>

- 沖縄に 名前そぐわぬ 霜月の
 のどか と き 長閑な時間を 独り悦しむ?!
 - 最近は 上京すれば 必ず行く?!
 だが何を求めての その寄席か?!
 - 受ける芸人 受けない芸人 違いは何か?!
 いろいろあるが 変わらぬ一事?!
 - 学会に 顔を出すのは なにゆえ 何故ぞ?!
 今更研究? それは面映ゆ?!
 - 「生涯教育」と 名づけし学会 しっかりしろ!
 そに託されしもの 今こそ意味なす?!
- <2017. 11. 16>
- 久し振り? 変わらぬ光景の 蒼碧き海 (湾) !
 すがた あ お う み されど想いは たゆた 揺蕩い変わる!
 - 再会いたいと 思う人が いつの間に?!
 あ はかな 人の世の儂き しかと知らさる?!

- ・ 加齢でもなく エイジングでもない まさに老化！
あらが 抗い切れぬ？ これからの身?!
- ・ 病気の数と 治療の数 多分同じでなく?!
そんなこんなで 日々は過ぎ行く?!
- ・ パソコンで 想いを綴る 今の我?!
それ出来ぬなら？ まこと窮する?!

<2017. 11. 20>

- ・ 同窓会 今の我なら すべて行く?!
だがそれ自体は 他力本願?!
- ・ ある人の 生き様深く 沁み入る我?!
生きた証しが そこにある故?!
- ・ 平凡な 日常過ぎる 霜月の末
その原因は いずこにある?!
- ・ 寒風すさぶ 屋上に 登りし若者！
BSアンテナに 何を思う？
- ・ 数日来 雨風続いた 我が居場所！
どんな師走が 待っている！

<2017. 12. 10>

- ・ 鉛色に ^{うなも}海面を照らす 薄青き空
 無風^うの海^み（湾）は 水平線へと広がる?!
 - ・ ^{ひと}他人は 様々な理由^わ・関係^けで 生きている?!
 当たり前だが 妙に実感?!
 - ・ 人の生きるを 眺めし我は
 いかなる理由^わ・関係^けで 生きている? その数少なし?!
 - ・ 弥山頂 粉雪 ちらつかせるも
 眺め^{うるわ}麗しき よくもこんな所が?!
 - ・ 弥山に^{ざわ}騒めく 妖^きしき樹々?!
 風とは言えど 神宿る島の 霊験それか?!
- <2017. 12. 10>
- ・ 氷雨とは 言っ^たてはいけない 今日の雨?!
 されどそんな形容 したくもなる?!
 - ・ 我が^{うた}短歌を 自らの想いに 重ねつつ
 拾いし若者 まんざらでもなし?!
 - ・ 人知れず 苦悶するのは 何故ぞ?!
 だがそれ無ければ 仕事とは言えず?!

- いつでもよい！ 来たい時には いつでも来い！
 そんな思いで 待ってはいるのだ！
- それぞれの 川の流^れが あるうとも
 いつかは集まる 協働の大海^{うみ}?!

<2017. 12. 18>

- 海^{うみ}（湾）はやはり 冬の海！ それでいいのだ！
 されど願うは 暖かき日々?!
- こんな異変に 出くわそうとは?!
 予想だにしなかった 学生達の姿！ 捨てたものじゃない?!
- 学生達の 化学反応?!
 多分それは 一人のお婆さんの 学ぶ姿勢から?!
- 今年もあった 様々な出会い！
 だが ほとんどが 再会のそれ?!
- 来る年は いかなる装い 我に見す?!
 この眺望でさえ 今は分からず?!

<2017. 12. 25>

- 故郷や 福岡・天草 経由して
 今年も始まった 私の一年！

- 新年が 明けたとはいえ 心は暗澹!
 ほんの一瞬?の 気の緩み怖し?!
- 新年に 集いし若者 晴れ晴れし!
 とにかく今年も 彼らと共に?!
- 何ていうことだ! 頭上を^{よぎ}過る 漆黒の巨体群!
 普天間の空は 改めて憂鬱?!
- 昨日と違う 眼前の^う海(湾)^み!
 天気^のの如く 変転する日々?! それ^{せい}が“生”!

<2018. 1. 5>

- 仕切り直しの 再スタート!
 その^{はじめ}原因は 他でもなし! 自らのドジ?!
- 覚悟した 額とは^{たが}違えど 予期せぬ出費!
 されど被害は 先方^にあり!
- 病?とは 長一いつき合い?!
 数値^ににして 言うだけで 努力もせず?!
- 雲と^{もや}靄 隙間に見える ^あ蒼碧^おの帯?!
 水平線上にも ^は早春^のの^ど長閑^さ?!

- 改めて始まる 様々な動き！
我が身も ^{こころ}心（頭？）も それに備えよ！

<2018. 1. 21>

- 春の訪れ さらに一步?!
^{おうか}桜花の盛り メジロ歎ぶ！ 我れもまた?!

- 春季キャンプ 以前はなかった 高揚感?!
^{ひいき}最良はないが 何故か気になる?!

- 理解者 はたまた 協力者?!
いずれか分からぬが ^{いささ}聊か頼もし?!

- こんなにも 想いが通う 間柄！
父と娘の 来し方いかに?!

- 何とも不気味な 轟音 エンジン音！
いつになったら解放か？ その^{みちいずこ}道筋何処?!

<2018. 2. 3>

- 今回も 思いと^{ちから}行動力 併せ持つ
^{ひと}素敵な職員が いるにはいた?!

- ・ ^{なにゆえ}何故に うまくは流れぬ？ 私の^{はなし}講義?!
 事例に寄せる 思いはあるのに?!
- ・ 今度こそ 何事もなく 終わるとぞ!
 思っ^てはいたが 何かを起^こす?!
- ・ 行政の 夢実現させるべく 動きたい?!
 そうは思えど 別な現実もあり?!
- ・ 再び冬に 逆戻り?!
 季節はそれでも 確実に 春を頂^く?!

<2018. 2. 21>

- ・ 紙屋町や本通り！ 流川や菓研堀！
 変わ^ってはいたが 次々と思^い出す 懐かしい^{まちな}街名！
- ・ 65歳の同窓会 数々の思^い出 寒風に舞^う?!
 とにかく皆 年取^った?!
- ・ これが本当に 最後と思^いつつ!
 眺めし街は 変われども やはり友は変わらじ?!
- ・ 雪舞^う廣島^{まち}に 別れ告^げ
 次女待^ちつ博多^{まち}に 動^うる我^われ 少々疲^れた?!

- ・ 久し振り！ 一面の雪に 飲ぶ我れ！
ただこの雪は 厄介なものでも?!

<2018. 2. 21>

- ・ 羽生結弦に 小平奈緒！ 何と素敵な金メダル！
どんな思いで そこに行き着く?!
- ・ 恐るべし 若者達?!
‘あつ晴れ’以上に 神の域？ そこには何が?!
- ・ 何故に こうも ‘神’が 膾炙する
親密になったのか?! それとも何かあるのか?!
- ・ こうまでしても 我が身体 昔に戻れぬ！
だがこれが今！ 受け入れる他ない?!
- ・ 今を生きる！ そこに生きる！ だがも一つある?!
そは 何故に生きる?!

<2018. 2. 21>

- ・ 蒼碧の海面の グラデーション！
それを指示するものは 誰か？ 海水の総意か?!
- ・ 改めて心配だ！ 眼の前の闖入物?!
そんなこと 小市民の勝手と 聳え立つ?!

- ・ 白波立てる ^{めのまえ} 眼前の海 ^う (湾) ^み !
 多分その寒風 ^{かぜ} 我がベランダに 春を戻らす?!
- ・ 久し振りの 小学校の 卒業式!
 儀式とは言え やはり意味ある!
- ・ 知り合いや 教え子の名 そこここに?!
 だがほとんどは それだけのこと?!
- ・ 新聞に 載るも載らぬも 他人事?!
 されども知れば 想いは馳せる?!
- ・ やっと終わった 計画づくり!
 それを実現する人 叶わぬ人 これもまた人の世!
- ・ 懐かしき 古宇利の島に いざ行かん!
 道のり遠いが 出でよ岳陽 ^{がくよう}!
 <2018. 3. 23>
- ・ 今日と明日 ^{あした}で 変わらぬ 日替わり?!
 しかし世間は そうもいかない?!
- ・ その中に すべてが終わる こともあり!
 されどそれとて 変わるとぞ言う?!

・ 「岳陽」と 名付けし未来の 晴れ姿?!
いかなる^{こころ}目で それを眺める?!

・ 沖縄で 「岳陽」とは ピンと来ず?!
されど想いは それでよし?!

・ 春の嵐?^{かぜ} それ自体は 心地よし?!
されど庭の植えものには 過酷?!

<2018. 3. 31>

・ 不具合は 機器だけでなく 我にもあり!
疲労困憊の 年度の始め?!

・ メカ音痴! 多くを巻き込む 困ったちゃん?!
されどそは いかんともしがたし?!

・ 孫の誕生日 一緒にいなければ 何もなし?!
それどころでなく 悪魔?との闘い?!

・ 外孫と 内孫は どう違う?!
されどそんなの 分かるはずもなく?!

・ 短き架橋 遠くに見ゆ!
行き交う車は スムーズに?! では人の心は?!

<2018. 4. 1>

・ 私の春に 水を差す 強^{かぜ}風は止んだ?!

鳥^{さえず}の囀り 心地よく?!

・ さあ、改めて スタートだ! どん^{とし}な年度が待っている?
やるべきことは きちんとやろう!

<2018. 4. 7>

・ この時期に 見たくはないが 時^{しけ}化の海!
これもあり?! それもまた自然?!

・ それなりの 終わり方ある?! 花火のフィナーレ!
それに違^{たが}うは やはり変?!

・ 研究会?! 急^せかされしものあり しっかり創りしものあり?
そこで見つめよ! 沖縄の未来?!

・ 入籍し 挨拶来るも 多少恥ずかし?!
とにかく覚悟を決めて 築け! 幸せ!

・ 何でもよし! 足を運べば 次がある?!
我が待^{ところ}つ場所は 岳陽舎だ!

<2018. 4. 18>

・ その風は いつも優しく 吹くでなし?!
されど、ある時 チャンスあり?!

・ しかれど その極意?! 誰も教えず?!
だが、掴む力 内にはあるのだ?!

<2018. 4. 28>

・ 毎日が GWらし?
今年も自虐す? SWs そは我か?!

・ されど、そも 取りようによっては 意味がある?!
我が菜果?の 命救えし!

・ 日差し 病虫害 そして強風^{かせ}?!
が、その他にも 落とし穴あり?!

・ 夢や楽しみ それだけでは やっていけず?!
本当に農業?は 難^{むずか}し?!

・ 胡瓜だけではない! 可愛い? 茄子にも 目は注ぐ?!
とにかく今は 海^{うみ}(湾)には注げず?!

<2018. 5. 6>

・ 梅雨入りの 宣言あれど その実態^{しるし}なし?!
暑さばかりが しゃしゃり出る?!

- 焦って宣言 したとは言え？
 それでも流石に それはなし?! 梅雨は何処ぞ?!
いずこ
 - パソコンの不具合 そこここにあり？
 おの からだ 己が身体も 同じよう?!
おの
 - 情景は 見る人によっても 見え方違う?!
 何故ならそこに 個我ある故?!
おの
 - それぞれの 咲き振り、色彩 見事なり?!
 そんな光景 かつてはなく?!
おの
- <2018. 5. 18>
- 最初に来たのが 何と？ 梅雨の中休み?!
 おかし おかし 不思議なことだが それもあり?!
おかし
 - とにかくも 雨降らざれば しんばい 心配事も増す?!
 その一つが かれら 植物への水遣り?!
かれら
 - 戻ってきたパソコン！ 何の変りもなく 対応す！
 そこに何があったか？ われ 我は分からじ?!
われ
 - いた 労わると 心で つぶや 眩くも そのリアクション?!
 なかなかうまく 成成はせず?!
いた

- ・ 胡瓜と茄子 その後も見せるは 収穫の妙?!
出来ることは ただ待つのみ?!

<2018. 5. 25>

- ・ 台風並みの 雨と風 それも梅雨?!
私のイメージ どこのもの?!

- ・ 水遣りより 雨風心配! これも梅雨?!
愛しき^{うえもの}植物 しばし凌げ!

- ・ 朝起きて 我が目見遣れば 何だこりゃ?!
酷^{つか}使いし付け?が そこに出た?!

- ・ 筋力を 付けたく励む 日々もむなしく?!
目の筋力?までは カバー出来ず?!

- ・ 明日^{あす}からまた しばし独り身! 娘孫^{こら}達は喜ぶ?!
慣れたこと故 障りなし?!

<2018. 6. 14>

- ・ 父の日と 次女^{むすめ}の誕生日 珍しく重なる?!
メールの遣り取り いつもと違う?!

- ・ 父の日は 母の日とは まったく違う?!
そうと知りつつ どこかに期待?!

- ・ 自らの 生き様語る ^{むすめ} 次女なれど
親なら分かる？ その“らしさ”?!
- ・ 今日だけが 晴れて終わるらし ^{びより} 梅雨日和?!
それでも安堵の 蒼い空?!
- ・ どの国も 凄いぞ！ とにかく頑張れ!
それにしても ^{しょうねんいずこ} かの野球少年何処へ?!

<2018. 6. 17>

<100号>

- ・ 100号は やはり大きな 節目！
願うは兼好・長明?! それとも健康・長命?!
- ・ ^{しよぎょう} 諸行の無常に ^{かこつ} 託けて
とにかく続ける この^{しよぎょう}所業?! ただしその^{きわ}極まだ!
- ・ 沖縄の 梅雨明けは
その後の水不足と 隣り合わせ?! これが^{さだめ}運命だ?!
- ・ そのスポーツ 得体の知れない 異次元^{まつり}祭?!
世界が熱狂する はずははず?!
- ・ 体調を 崩して戻った 我が奥さん!
回復の後は 再び頼む?!

<2018. 6. 24>

- ・ 北極星 とうち 沖繩ではそを にぬふあぶし 子の方星と呼ぶ
あかり 街火の乱舞に ひかり 光は鈍く
- ・ にぬふあぶし 子の方星 我が位置示す 星なれど
くも さえぎ 薄雲が遮り かす 光幽けき
- ・ 光、光、光 何照らす それなのか
明る過ぎれば それも分からず
- ・ おきなわを 照らす光は 乱反射
東ねしプリズム たれ 誰ぞ創らむ
- ・ 闇の中 ひとすじ 一条の光 見えぬれば
救われし人ぞ さぞも多けれ
- ・ ひさかたの 光のどけき 春の日は
誰にもあれど 詠むは別
- ・ 夕日差す うなも 海面の光 セピア色
あお 昼間の蒼碧は いずこ 何処に失せぬ

・ 夕暮れの ^{もや} 霧を照らす その光
鈍く明るく これも沖繩

・ ^{ていーだ} 太陽の光 熱く射す
月の光はと 仰ぎ見る いと涼しき

・ ^{ひかり} 陽光求めて 棲む生き物
人の世が 求めし光 かくあるか

・ 眺望記と 台風
同じ“号”でも その意味違う！ そこには何が?!

・ 天の川 眼下の猛威に 口にもされず?!
されどそのロマン いつかまた訪ず!

・ 今度もまた ひたすら耐えてと 思う我?!
今年はこれが 幾度続くか?!

・ 善と悪 この二面性 もつ故に
神と呼ばれる 日ノ本の自然?!

・ 海(湾)を見つめる 我が眼!
静かではあるが 濁りし海面に 不安募らす?!

<2018. 7. 7>

・ 書くのも憚れる 豪雨の災禍!
何故にこうした 悲劇が襲う? 人の世はかくもある?!

・ 知りたくなかった?! その報道!
されどその事実 忘れてはいけない! 特に“何故”を!

・ “正義”とは 時として 狂気を誘う?!
そこに何かあるのか 為政者よ、分かれ!

・ 台風は 沖縄にとっては 二面の神?
そのどちらかでは 生きてはいけぬ?!

- ・ 繰り返す 台風災禍！
 そんな中 願うは無事の その一事のみ?!

<2018. 7. 9>

- ・ 豪雨と熱波 列島危うし?!
 とにかく凄い 自然の猛威？ されど生く!

- ・ 世界的な 異常気象?!
 だがこれが 当たり前になるとも言う?!

- ・ 独りでは やはり難し 古代の解明?!
 されど仲間は さらに得難し?!

- ・ これもまた 独り故?!
 “教育協働” 尽くす語りも 見えぬその後?!

- ・ スポーツ界 五輪モードで さらに盛り上ぐ?!
 若手の台頭 待つはそれ?!

<2018. 7. 23>

- ・ あり得ない？ そんな台風 現実に！
 されどそれとて 理はある?!

- ・ 再びあの 知らせあり！
 彼らの罪は 何処に 彷徨う?!

・ 人となり 器の大小 ともどもに
時代の^{とき}奔流^{ながれ}は 飲み込みし?!

・ 100回記念! 幾度となく 繰り返される
熱き青春?! 本音は羨まし?!

・ ベランダの 模様替え一つが 悦びに!
そんな日々を 今の^{われ}我なす?!

<2018. 7. 30>

・ 毎年の 1回切りの 恒例行事!
喜びだが 疲れも増す?!

・ Empty nest 哀しくはあるが それは真実?!
集えるだけでも 良しと思う!

・ 変わらぬようで 日々変わる 我が眺めし光景?!
好きも嫌いも 一興はある?!

・ サンデー毎日 認めたくはないが 日々はそれ!
脱する術は いかにある?!

・ ほとんどが 最期と言うは 我が都合!
ただまだ言えるは 余裕とも?!

<2018. 8. 26>

- 気がつけば 秋の気配?!
 台風の せいではあろうか? やる気も変わる?!
 - クーラーも 扇風機さえも 要らない?!
 そんな季節が じきに来る?!
 - 強く激しく 訴える候補者?!
 その想いと迫力 どこから出る?! ある意味羨まし?!
 - 我を気遣う 若者もいる!
 そうでない 若者もいる?! どちらも尊し?!
 - 吉報を 待つだけの 我なれど
 若者によっては 複雑なそれ?!
- <2018. 9. 3>
- 三線と さんにん いかに合わすか ハーモニカ?!
 無茶を覚悟で チャレンジする?!
 - ‘おきなわ’の ‘おのこ’となりて 弾く三線!
 羨ましくもあり 切なくもあり?!
 - 世話になったと 行く送別会!
 おのれ うまれ び 己の誕生日 しまい込む? 哀しや三女?!

- ・ 豪雨、台風、地震！ いずれも怖き ものなれど
何かを気づかす ものともなる?!

- ・ 秋の海（湾）！ 幽かに弱く 陽の光
それと告げるは 我が錯覚か?!

<2018. 9. 14>

- ・ 中秋の 名月と言えども ぴんと来ず？
ただ台風の 進路気になる?!

- ・ 過ぎ去りし 時代を悟るは この時か？
されどその時 喜びにも?!

- ・ 年寄りが お昼にステーキ 何かの間違い?!
ただし会うのは 間違いでなく！

- ・ ‘アムラー’で なくとも今日は 感動す?!
同じ引退？ こうも違うは?!

- ・ 人の軌跡が 奇跡を呼ぶ?!
そんな事件？に 何思う?! これも沖縄?!

<2018. 9. 24>

- ・ さりげなく 訪れた 最後の節目?!
感慨^{おも}う心も どこかさりげなく?!

- ・ 今回の 台風怖し そして恨めし!
だが、そんなこと ある意味ふつう?!
- ・ 沖縄の 想いが決める 自らの未来?!
故人の遺志が 背中押す?!
- ・ 初めての 沖縄訪問 おまけかも?!
過ぎればそれも 楽しき記憶?!^{おもい}
- ・ 平成の 大横綱も 哀れなり?!
土俵外では 唯の人?!

<2018. 10. 1>

- ・ 夜遅く 我が家に戻れば 哀れなり?!
ブーゲンビリアの 枝も折れ!
- ・ 霧島の 霧、否強風が 悩ますも?!^{かぜ}
来年は韓国岳 目指さんとぞす?!^{つぎ からくに}
- ・ 久し振りに 再会にしが?!^{あい}
かなりのやつれ 感じさす 思い過ぎしか?!
- ・ 甥たちと 戯る次女に 目を遣れば^{むすめ}
やはり生じる 切なき想い?!

- ・ 何事も なかったかのような 今の海（湾）?!
いつも思うが 自然は奇なり!

<2018. 10. 8>

- ・ 快晴の海（湾） あの時の猛威 忘れたか?
ただコバルトの 色発すのみ?!

- ・ コバルトブルーの 私の海（湾）!
さらに爽風 花木達 すべてがエール?!

- ・ 再び驚く 自然の力 生命力!
ただし此度は 嬉しさが先?!

- ・ その生命力 復元力に
何故に子らは 背くのか? 悲しき人間世界?!

- ・ 今更と 思う気持ちも なくはなく?
だが求められれば 限りは尽くす?!

<2018. 10. 21>

- ・ 霜月とは まったく無縁の ここ沖縄!
されど季節は しかと変わりぬ?!

- ・ これで終われよ 台風来襲!
今はただ そのことのみを 願う我?!

- ・ 忙しさ？ 思うこと多ければ 倍増す！
生きるということは ある面それ?!
- ・ 試験の結果 ある者にとっては 残酷なもの！
されどそこから 這い上がるしかなく?!
- ・ グローバル公民館 何と言う動きか！
しかもそれを 彼らが創っている！ 何と言うことか?!

<2018. 11. 1>

- ・ 気がつけば 霜月半ば！ そして3年！
過ぎし日々に 作為はあるか?!
- ・ 雄大に 波一つなく 横たう蒼碧の海！
建物、木々も 釣られて？微笑む?!
- ・ 1万回！ よくぞ叩いた この数字！
何はともあれ 我が節目なり?!
- ・ そんな節目に どんな意味？
軽くもあり？ 重くもある！ それが今の私故?!
- ・ そのテーマ！ 最期に書くと 決めにしが?!
その時それは 如何にあるらん?!

<2018. 11. 16>

・ 雲一つなく？ と思って見遣る 遠くの空！
無くてもよいのに あるにはあった！

・ 朝起きが ^{なにゆえ}何故おのれの プレリュード?!
されどそれさえ 思えば意味ある?!

・ 学校は 絶対に必要！
そして 佳き事だけで 終始せよ！

・ ^{わきみず}湧泉を 哀しく？見つめる 独りの乙女！
^{しょうじょ} 何がありしが それに留めよ！

・ 「陽」と「陰」！ 何故に「陰」が 先に来る?!
「陰」が「陽」を 求める故か?!

<2018. 11. 20>

・ “おきなわ”は 戻ればやはり むっとする?!
湿度だけなら それもまたよし?!

・ 変わりゆく ^{としつき}年月なれど 変わらぬ友！
そこにあるもの 一体何?!

・ 学会と いう名の人 集まりに
今更何故に ^{なぜ}心躍らす?!

- 風除け雨除け 願うとて
 簾^{すだれ}吊るすも 耐えきれず?! それ自体甘し?!
- エイサー演舞 遅くなった 6年生の思いと力!
 そこに見えるは “おきなわ” の未来?!
- “おきなわ”を 如何に受止め 如何に^{はた}実現す?
 答えは 挙げたバチのその先に?!
- トランジットモールの 歩行者天国!
 何とも都会な その^{まち}那覇で 異邦(老?)人ぶる?!
- たったあれだけの 歩きでも ^{あし}腿に凝りが!
 情けなし 往時の^{しょうねん}野球少年?!

<2018. 12. 17>

- うっすらと ^{へさき}舳先の^{さき}岬に 浮かび立つ
 ホテルの様は 天空の城?!
- パソコン以外に 何をする?!
 我が^{とも}腫瘍よ? それを知ってて 何故に悩ます?!

- ・ “平凡” は 　　　ある意味 “努力” 　　　でもある?!
　　　　　　　　　　だからなければ 　　　それ以下となる?!
- ・ 　　　それはまた 　　　“普通 “とて同じ?!”
　　　　　　　　　　懸命に 　　　生きてこそその 　　　^{たまもの}賜物だから?!
- ・ 　　　何と言うことか! 　　　それでも^{ひと}家族は 　　　生きていく?!”
　　　　　　　　　　　　　　　そこに芽生える 　　　強さと愛?!”
- ・ 　　　広い^う海 (湾) ^みリーフに砕ける 　　　白き波?!”
　　　　　　　　　　　　　　　まるでそれは 　　　己の様?!”
- ・ 　　　再び始まる 　　　新たな年!
　　　　　　　　　　いかなる年かは 　　　未だ分からず?! 　　　ただ待つ?!”

< 2018. 12. 30 >

121

- ・ 　　　1 週間の 　　　留守から始まる 　　　我が^{とし}新年に
　　　　　　　　　　猪突猛進 　　　　　　　あり得ない!
- ・ 　　　旧き良き 　　　^{とも}友人達とも会える 　　　^{とち}その場所は
　　　　　　　　　　私にすれば 　　　^{とち}遠き場所でも?!”

- ・ 創造を 成したく思う ^{われ}我なれど?!
ふと気がつけば 回顧ぞ多き?!

<2019. 1. 14>

- ・ これが最後の 研究会?!
未練はあるが 仕方がない! 次もある?!

- ・ 分かって 欲しいことは 山ほどあるが
されどそれらは いかに広がる?!

- ・ 名目は 新年会だが ^{さわに}沢山ある?!
とにかく^{すす}歩め それぞれの^{みち}人生?!

- ・ ワインをば こんなに沢山 飲んだこと
なかった我だが 何に酔う?!

- ・ 新たな出会い あったとも
言えるこの会 そもそも成果! 小さいが貴重?!

<2019. 1. 21>

- ・ 春日和! ずっと続けと 願いはするが
それは無理?! キャンプどうなる?!

- ・ 見つかった? 新たな居場所?!
増えた休日 そこで過ごす?! それは^{いき}粋?!

- 今年もまた 律儀に映える ^{さくらばな}寒緋桜!
 だがその感激は 年毎に減る?!
- 上り坂 後ろ向きで 歩いている!
 それはまさしく 今のわれ?!
- 過ぎ去りし 事や物が 遠ざかる?!
 上りの坂を 後ろ歩きせば?!

<2019. 1. 30>

- 突然の 寒冷前線 ミニ台風?!
 それも過ぎにし 春日和?!
- 今年も^あ出会った! 心ある^{ひと}人達!
 そこに広がれ 活躍の場 そうでなければ?!
- 文化の違い? そんなものでは 済まされじ?!
^{こども}人間が育つ それは変わらじ?!
- 刻々と 迫る最後の 私の授業!
 こんな形で 終わろうとは?!
- 不思議であるが 未練なし!
 何故なら既に 格好つける ^{わけ}理由もなし?!

<2019. 2. 2>

- ・ 45年の 月日の流れ！
 思ったよりは 隔絶なし?! それは何故？
 - ・ 変わるもの すべてがそれと 思いしも
 変わらず残る 青春の日々?!
 - ・ 遙か昔に 逆戻り?!
 それでもすぐに 時計の針は 右回^{まわ}転る?!
 - ・ やっと終わった 最後の授業！
 駆けつけた 若者達の 情けに感謝！
 - ・ 色んな^{であい}再会？ この先それは いか^{ひろが}に展開る?!
 そんな想い ^う海^み（湾）に投じる?!
- <2019. 2. 9>
- ・ ヴァレンタインデー 今やまったく 蚊帳の外！
 それでよいが 往時懐かし?!
 - ・ 建国と そのこと^{いわ}記念うは 別なこと?!
 願わくは 一緒であれ?!
 - ・ いつか植えた 桜の木！
 誰にも見られず 今年も咲いて いるであろう?!

・ 天職と 思いつ過ぎた こことても
終わればそこは ただの場所?!

・ 我が眺望も いずれまた ^{ひと}他人のもの?!
ただしその時 も少し先?!

<2019. 2. 15>

・ いかなる審判 下ろうが
変わらぬ現実 そこにある?! どうすれば?!

・ レガシーと 呼べばそは 格好がつく?!
だがまだまだ それには及ばず!

・ 凄い! まさに壮挙!
ひとづくりと まちづくりの循環 そは究極の形?!

・ “かぐや “や”りゅうぐう” おとぎ話の ロマンに乗せて
科学技術は どこへ行く!

・ 目指せ 一万歩!
それが出来ねば 君は危うし? 分かってはいる?!

<2019. 2. 22>

・ 何でも最後? ^{いや}否、すべて 始まりだ?!

それを^{あらわ}象徴す 元号であれ!

- ・ “マブヤー” に 託す思いは それぞれか?!
 “ウーティクヨー” と 叫びはするが?!
 - ・ ひな壇を 飾る二人は 老?夫婦!
 娘達の来し方 合わせ見る?!
 - ・ 最期に残るは あれだけか?!
 娘達は弾いたが そは妻の 夢でもあった?!
 - ・ 薄靄の かかりし海(湾)に うねり出る
 微かな白波 岸にて弾く?!
- < 2019. 3. 4 >
- ・ 気がつけば あと半月! さわにざわつく?
 だが海(湾)は 静かに待つ?!
 - ・ 期待して 訪ねた結果 大ショック?!
 やはり敵も したたかなり?!
 - ・ それならば さらなる努力で 打ち負かす?!
 決意も新たに 動き始める?!
 - ・ “縄文” に見る “和” の魂?
 そこにあるのは “生き延びること” “果ての術”?!

- ・ 見直されてきたか？ その心！
が、それを分かるは 外国^{よそ}の人かも?! それは何故?!

<2019. 3. 15>

- ・ 気がつけば 何と 30 年！
何をして 何を思い ここまで来たか?!

- ・ ただ眼前に 横たうだけの 蒼碧^{あお}の海^う（湾^み）！
それに魅せられ 住まうだけ?!

- ・ 怨念、正義?! 出せば出すほど ねじれ増す?!
されど我が上空^{そら} 頓着なし?!

- ・ 工夫して 児童^{こども}を祝う 優しさに
いかほど気づく 我以外?!

- ・ 及びもしない ツールとて
補助があれば こんな我でも 喜びに?!

<2019. 3. 26>

- ・ 次の時代は “令和^{れいわ}” とぞ！
とにかく尽くせ その願い！ 我はどう生く?!

- ・ “万葉集” まさかこの期に 呼び出さる?!
編者の想いは いかばかり?!

・ “象徴”に ^{さだめ}運命とは言え 身を置くも
かくも君 ^{きみ} よく振る舞えし!

・ 様々な 生き様・覚悟 見せられし!
今の我が身は それと比べば?!

・ されど日々 いつものように 過ごすのみ?!
それも一つの 時代とて?!

<2019. 4. 1>

・ 存在自体 軽いのか それとも意識?
改めて 「元号」とは何?!

・ あの頃の 女子学生が 一人また!
ならぬと言って 今はそれらし?!

・ “その時”は 90年?の 幅がある?!
故にそれぞれ 役割違う?!

・ 学校以外に 様々にいる 一年生?!
そこにある それぞれの生?!

・ ^{おのおの}各々みんな 新〇〇?! だから頑張ろう!
そうでなければ それこそ寂し?!

<2019. 4. 9>

「じのん逍遥記」

- ・ “じのん”とは 我が住んでいる まちのこと！
ただ愛着は いかにある？!
- ・ “逍遥”に 思い託すは 初老？の暇人^{ひまびと}
ごくありふれた 気取りなり？!
- ・ 子どものあいさつ やはり良い！
それがなければ つまらぬ歩き?! 思いある故?!

<2019. 5. 7>

- ・ “本土”とは? “復帰”とは?
宙に漂い 問う魂^{マフヤー}? 如何に向き合う?!
- ・ “おきなわ”らしさ 逞しさ?
他にもあろうが 何故バナナ? 世代がそうする?!
- ・ 秘密の場所 子どもの頃の 思い出求め!
何とそれは 野苺なり!

<2019. 5. 14>

- ・ 変わらぬ集まり ただ来る人は
運営の もどかしき 如何ほど知る?!

- 九州の 古墳を歩く 怪しき父娘?
昼食だけが とんだ道連れ?!
- 病と闘い 健気に そして美しく
逝った農婦は 我が叔母なり!

<2019. 5. 21>

- 不思議な入りも 今日限り?
梅雨がなければ 作物実らず! それが自然?!

- 様々に 想うことあるが 今回はただ
次女のことか 沢に過ぎる!

- 何故に こんな川縁 綺麗にする?!
- 理屈なぞなし そうしたいから?!

<2019. 5. 28>

- 58号線に 何と粋なり!
- そは誰の?! そんな美学が どこから生ずる?!

- 純愛三部作? 勝手に 名付けているが
実のところは 分からない?!

- 追いかけるもの? 果たしてそれは 何なのか?!
- 今でもあるが 他愛なく?!

<2019. 6. 3>

・ 頑張れば 報われる?!
そんな思いで 梅雨空眺める！ 次はどうなる?!

・ 予想だに しなかった 生活圏域?!
だが今は そこが居場所と?!

・ せっかくの縁 そして学び!
そが繋がって いないとなれば 哀しくもあり?!

<2019. 6. 11>

・ 梅雨の中 歩いて求む 浦添蕎麦!
懐かしさだけで そこには行かぬ?!

・ これまでも 出会いし仲間 多けれど?
此度は違うと ^{おも}予感わすようでも?!

・ 梅雨明けは もうじきか?
季節のそれは そうであっても 明けぬものあり?!

<2019. 6. 20>

・ 興醒めか? とんだところに それがある?!
されどその答 ^{とが} 文豪にはなく?!

・ ハローウィン そんな効用 あったとは?!
それでも事は 容易ならまし?!

- ・ 馴染みない ものでも工夫 あっぱれか?!
だが地域には それが必要?!

<2019. 6. 24>

- ・ 大雨よ! ^{じねん}自然の習わし それとも気まぐれ?
いずれとて ^{あらが}抗えず?!

- ・ ふと買った リュックサック!
どんな思いが そこにある? ^{わけ}理由ぞ分からぬ?!

- ・ 今年も クマゼミの^{こえ}協奏!
折角の命 思う存分 鳴けばよい?!

<2019. 7. 6>

- ・ スポーツ それともエンタメ?!
どちらでもある 今の野球! だが勝負は別!

- ・ 変わっても 何故に変わらぬ “ふるさと” 意識?!
そもある種の デラシネか?!

- ・ 初老夫婦の 二人旅!
そんな光景 そこかしこ?! 出来る時にぞ!

<2019. 7. 13>

・ 違い過ぎる 空と海！
自然はそれを 繰り返す！ 我には能^{あた}わず?!

・ あの頃の 学生達が こんな立^{すがた}場！
嬉しくもあり！ 眩しくもあり！

・ 後少し？ 残された日々を 鳴き通せ！
盛^{なつ}夏を告げにし 役目を終えて?!

<2019. 7. 20>

・ それぞれの現実！ いずこに その結び目ある?!
選挙がそれを さし示す?!

・ とっかえひっかえ 出^{たら}て来る 盥？
浮かばすプールは それ自体 危ういのに?!

・ ビーチの賑わい それで良い！
楽しさ求めて 何悪^いい?! そもそもまた現実?!

<2019. 7. 24>

・ “月日”をば “過客”と呼ぶは その人の
生き様示す 旅^{わざ}の業?!

・ 食べたいと 思いはしないが 惹きつける？
南の島には 不思議な果実が?!

- ・ 名前も知らない 奇妙な遊び？
何で そうしたことが できるのか?!

<2019. 8. 1>

- ・ ^{こどもら}娘達が 来るのは良いが ^{きがかり}心配も多し！
ただその原因の 多くは台風?!

- ・ せめて筋トレをと 思いはするが それも難し？
どこかに漂う さぼり心?!

- ・ 楽しい一時 台風の如く 来て去る?!
こんなこと あと何回あるか?!

<2019. 8. 13>

- ・ ^{こどもら}娘達と 一緒の^{とき}時間は まさに束の間！
何故に今は そうなのか?!

- ・ 家族が生きるは そういうこと？
そこにある ^{よろこび}喜怒哀楽は 月の満ち欠け?!

- ・ 明確な 四季の移ろい 見えずとも？
心で感じる 夏の終わり?!

<2019. 8. 21>

- ・ 今回もまた あっという間の 時日の流れ！
やるべきことも それに連なる?!

・ 公園の 野良猫^{ねこ}に寄せる 我が思い
見たくなかった 光景が消す?!

・ かの基地と 隣り合わせの 季節の花々^{はな}!
どこに咲こうと 凜とあれ?!

<2019. 8. 26>

・ 飛んだ?! 福岡への旅!
それにしても 猫コーヒーまで 飲むとは?!

・ 我が家にも 咲き誇る その花は
これまで憧れし ブーゲンビリア!

・ 同じ植物で ありながら 愛でられるものあり!
迷惑がられるものあり?!

<2019. 9. 3>

・ 往来す ある数値?!
そうしたものが 我が人生に 何故に絡まる?!

・ ここにきて 四季のすべては 満喫できず?!
夏が過ぎれば せめて秋とぞ?!

・ 落日の 写真はダメでも その代わり?
そこで目にした 光景^{もの}は残れり?!

<2019. 9. 12>

- ・ こんな蘇鉄 見たことない?!
 ^{みなみ}南国の象徴?! が、ある時は 危うし食料?!
- ・ 公園の ベンチに残る 尻のあと?!
 やはり違うぞ! 紙オムツ?!
- ・ 再び来た 三女の^{うまれび}誕生日!
 都度に思う ^{おの}己が‘納得’?! ただそれだけ!

<2019. 9. 20>

- ・ これでも‘秋’?! そう思えれば それでよし!
 そうでなければ 何とも悔し?!
- ・ 続けている! ただそれだけで 誉めてよし?!
 それが、自分の 確かな証し?!
- ・ オスプレイ! ここでは通常? 他では異常?!
 その差は何か? 比べてみよ?!

<2019. 9. 27>

- ・ 琉大祭や 運動会 秋恒例と言えは
 そうなのだが 何か足りない?!
- ・ そこにあるはずの 懐かしい光景?!
 どういう訳か 消え失せし 何故?!

- ・ 季節は巡る?! 同じそれでも 違うのか?!
 そう感じるは ^あ老境のせい?!

<2019. 10. 1>

- ・ スポーツに 魅せられ今日も テレビ観る!
 それはそれで 佳きことぞ?!
- ・ 担った祖国 今はどこ?!
 佇む記念碑は 黙して語らず?! ただそこに立つ!
- ・ ひよんなことから ‘国’ とは何か 考えた?!
 ‘家族’ の延長? 本当にそうなのか?!

<2020. 10. 8>

- ・ せっかくの 朗報・活躍に 水を差す!
 自然の猛威は すべてを狂わす?!
- ・ ‘悲しみ’ と ‘哀しみ’ の違い 改めて納得!
 そは^{ひと}人間の 感性の妙?!
- ・ ‘ペーソス’ と ‘パトス’ が同じとは!
 言葉の神の 粋な計らい?! そこに ‘ロゴス’ も?!

<2019. 10. 15>

・ 雑草の 花とは言えど 麗しく?!

その証拠に ^{あかし} 蜜蜂群がる!

・ 終点が ある時期からは 途中駅?!

我が人生も そうなのかも?!

・ 会いたいと これまでは あまり思わず?!

そは 誰にとっての‘終活’?!

<2019. 10. 21>

・ 言葉と弄ぶ ^{あそ} 親爺達!

そこにあるのは 照れロマン? そこが麗し?!

・ 展示品より 柿の木に

何故に目がいく 今の我れ?! 背徳者か?!

・ 暮れ行く秋の 博物館に 柿の実が!

誰か手に取り ^{かじ} 齧るのか?!

<2019. 10. 30>

・ どうして こんなことが?

起きるはず ではなかった シンボル焼失!

・ ‘文化’には 様々なものが?!

そこに‘観光’ 絡みつく いかなる‘光’か?!

・ ‘公民館’ 何故、今 採り上げる？

分かる人には分かる その存在意義?!

<2019. 11. 3>

・ 孫達よ！ 予定外の 呼び寄せするな！
そんなことさえ 思わせもする?!

・ ‘いわし雲’ ここ沖縄でも 秋の季語かと?!
思いながらも もうすぐ終わる?!

・ 埋め立てが あちこちで進む?!
そこに幸あるか？ せめて心の 溝は埋めよ?!

<2019. 11. 14>

・ みんな 頑張っている それぞれの今を?!
晩秋だからか 切なくもある?!

・ 旅先も 立派な^{しょうよう}逍遥 成立す！

されど^{ふたり}夫婦じゃ ^{しょうよう}小用も多し?!

・ 写真が示す 我が老いの あり様?!
いつしか亡父の それに似る?!

<2019. 11. 22>

・ 嬉しき出合い 再会と
他方で募る 重たき心?! そもあるか?!

・ ‘すすき’ に映す ^{あき たそがれ} 晩秋の黄昏！
ただそこは 人目に付かず！ それでよい?!

・ ‘みじゅん’ 釣り 釣果もそうだが
効用は 家族団欒?! それもよい?!

< 2019. 11. 28 >

・ 学会参加に かこつけて
初老の夫婦 温泉三昧?! 当時（湯治）はあり得ぬ？

・ こんなにも 違いがあるとは ついぞ思わぬ?!
山が告げにし ^{わがみ} 過酷な現実?!

・ 出で湯の箱根 巡り来て
最後が秀峰 富士山なり 何とドデカシ！

< 2019. 12. 4 >

・ 書きたくないよ！ プロでないの で それでよし?!
されどこの^お老い いかに^お背負う?!

・ 重たき日々よ！ 若者達も さにあるか?!
ならば老いとは その重ね?!

・ 私の待つと 何違う?!
じっと待つ その^{しらとり}白鳥の 名前も知らず！

< 2019. 12. 15 >

- ・ 城の焼失！ それは シンボルの喪失?!
我が心の城は いかにか?!
- ・ されどそは あるところにはある?!
か細けど 見ようと思えば すぐそこに?!
- ・ 路地筋で 過ぎ行く歴史を じっと見守る!
その人形達も 実はシンボル?!

<2019. 12. 23>

- ・ 逍遥とは 名ばかりの それであれ
父親^{おや}としては 至福の時とも?!
- ・ 厄年は 60歳^{ろくじゅう}過ぎれば ないらしい!
それもそのはず 毎年がそれ?
- ・ 王墓の上に 何故か車道!
理由^{わけ}聞けば 保存には 好都合とか?!

<2020. 1. 8>

- ・ ‘成人の日’とは 何か?
虚構とは言え 大事な日とは なり得る?!
- ・ キビとススキ 同種であるが 同じでなく!
その違い 穂にも見えるか?!

- ・ ‘神’ はいる?! こんなものが 目に入れば!
ことほど左様に 自然は居す?!

<2020. 1. 15>

- ・ 今年も咲いた ^{さくら}寒緋桜花!
沖縄の春 それがなければ 始まらぬ?!

- ・ 人の思いと 交わりに 何故に喜ぶ?!
それが求めた 形故^{ゆえ}?!

- ・ 亀甲墓! そこにあるのは いかなる思い?!
人が見る ^{しる}首里城も同じか?!

<2020. 1. 22>

- ・ ^{きさらぎ}如月に 思い重ねる 今の我^{われ}
いかなる次を 見始めむ?!

- ・ アコーディオンと 歌声サークル!
その人の 思いと行動^{うごき} ^{みごと}驚嘆なり!

- ・ いつの世も 変わらずあるは 人の情^{じょう}!
それがあるとぞ しかと受け止む?!

<2020. 2. 1>

- ・ 祝辞に託^{かこつ}けた 我が思い！
結局は届かぬ 人達もいる！ 仕方ない?!
- ・ 何でもそうだが ‘境’ はある！
だが それを外せば 良きこと多々ある?!
- ・ ペットと人間^{ひと} その境に 無責任と慈しみ?!
されどそれ自体は 浮遊する?!

<2020. 2. 15>

- ・ 雲と月との 鬩ぎ合い?!
太陽^{ていだ}とのそれとは 趣き違う！ そこに何ある?!
- ・ キャンプ地を 訪ねる訳は もう一つ?!
過ぎ去りし日々 重ねるため?!
- ・ ‘追憶’ の 中でのみの 彼の地とて
やはりそれは 我が歴史^みの一つ?!

<2020. 2. 23>

- ・ 再び あっという間の 三月弥生！
ただそれどころではない 新型コロナ！
- ・ オオゴマダラ こんなところに 羽根を広げる？
やはり開放された 大空がよい?!

